

もりの森の話

第20話
十勝東部森林管理署
田中 良

若手職員のコーナーです

【日本一寒い町 陸別町】
私が勤務している陸別森林事務所は、日本一寒い町として有名な陸別町に所在しています。
陸別町の面積の8割が森林であり、昔から林業の町として有名です。
十勝地方最北に位置し、周りを山に囲まれた盆地であるため、一年を通して寒暖差が激しく、今年の冬は最低気温、氷点下29・2度を観測しました。非公式ではありますがありますが、過去には氷点下40度を下回り、計測不能になったそうです。

【主な業務内容】

陸別森林事務所は、国有林野の管理をはじめとする境界保全、各種収穫調査、造林等の業務など多種多様な業務を実施しています。

入庁後初めて国有林に足を踏み入れたときは、北海道の壮大な自然に感銘を受けました。
しかし、北海道の代表樹種であるトドマツの判別すらまともにはできない状況で、毎日、樹木図鑑を開き、冬でも落葉樹を見分けることができるように、葉っぱ以外の特徴を重点的に少しずつ勉強していきましました。

【森林教室について】

そんな樹種を判別することとで精一杯な私ですが、入庁後早々に森林教室の講師を担わせてもらいました。
陸別町では、陸別小学校を対象に「総合的な学習時間」の一環としてふれあいの森で森林教室を実施しています。

実施内容は、児童の皆さんに少しでも木を知ってもらうために、遊歩道を散策しながら葉っぱ探しゲームを行い、見つけた葉っぱや樹木について説明をします。

また、木以外にもエゾシカやタヌキといった糞を確か

認することができる、森林は野生動物にとっても欠かすことのできない生活環境なのだと思ってもらうことができました。



森林教室の様子

私自身、講師として務まるのだろうかという不安もありましたが、コロナ禍で自然と触れ合う機会が減っている児童に対して、身近な自然について知ってもらいたいという一心でやり遂げることができました。
今回の森林教室をきっかけに自然や林業に対して少しでも興味を持ってもらえればと願っています。

【森林の昆虫の話】

森林の中を散策するとエゾシカの糞をよく見かけます。その糞に時々付いてい

る昆虫がいます。オオセンチコガネというコガネムシの仲間です。



オオセンチコガネ

オオセンチコガネは綺麗な光沢をしており、緑色っぽい個体だけではなく、地域によっては赤や青といった様々な光沢を放つ昆虫です。

そんなロマンのある昆虫ですが、驚くべきことに動物の糞、特にエゾシカの糞を食べる糞虫なのです。

エゾシカは北海道各地で観察することができると思いますが、エゾシカの糞を目撃した際は、オオセンチコガネを探してみたいかがでしょうか。写真とはまた違う色をした個体に出会えるかもしれません。